

いつ逃げる？レベルで判断！

気象の警報などが

大きく変わります

5月29日(金)から、気象庁が発表する防災気象情報がより直感的で分かりやすくなります。

これまでの情報は、「注意報」「警報」「特別警報」など種類が多く、緊急時に「どの情報を見ればよいか分かりにくい」といった課題がありました。今回の見直しでは、警戒レベルとの対応関係が整理され、「いつ避難すべきか」がより明確になります。

災害から身を守るためには、正しい情報を知ることに加え、早めに行動することが大切です。

テレビやスマートフォン、防災行政無線などで最新の情報を確認し、少しでも危険を感じた場合は、ためらわずに避難行動をとりましょう。



問合せ 地域防災課 ☎(81) 11110

おもな変更点



警報・注意報の名称に「レベル」が付きます

避難行動と直結するレベルがすぐに分かるようになり、避難判断の目安が明確になります。

「土砂災害注意報」

「大雨警報」

「レベル2
土砂災害注意報」

「レベル3大雨警報」

河川氾濫の危険度について伝え方が変わります

従来の「洪水警報」「洪水注意報」が廃止されます。また、「レベル5氾濫特別警報」が新設されます。

「洪水警報」
(洪水予報河川※)

「洪水警報」
(洪水予報河川以外の河川)

「レベル3氾濫警報」「レベル3大雨警報」

※県内では相模川と酒匂川

「警戒レベル4相当」は「危険警報」として発表されます

危険な場所から避難が必要な状況であるレベル4相当の情報が「危険警報」として発表されます。

「土砂災害警戒情報」

「レベル4土砂災害危険警報」

線状降水帯の発生などは「気象防災速報」として発表されます

極端な現象は新たに「気象防災速報」として発表されます。

「顕著な大雨に関する気象情報」

「気象防災速報 (線状降水帯発生)」

5つの危険度と情報の種類

色やレベルで危険度がわかります

黒

レベル5 特別警報

すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。
直ちに安全確保をしましょう。

▼ここまでに危険な場所から**必ず**避難しましょう！▼

紫

レベル4 危険警報

危険な場所から全員避難しましょう。
※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難

赤

レベル3 警報

避難に時間のかかる人は危険な場所から避難しましょう。
それ以外の人も必要に応じて避難の準備や自主避難をしましょう。

黄

レベル2 注意報

どんな危険があるか、どうやって逃げるか家族と相談しましょう。
ハザードマップなどで災害リスクを再確認しましょう。

白

レベル1 早期注意情報

今後の情報に注意しましょう。

災害情報を活用しましょう



リアルタイムで確認「キキクル」

キキクルってなに？
大雨による災害の危険度を
確認できるツールです。



気象庁ホームページ
キキクル

特徴

- ①危険度を5段階に色分け
どこが危険か一目でわかります。現在地点が赤や紫、黒であれば避難をしましょう。
- ②地図上にほぼリアルタイム表示
10分ごとに情報が更新され、早めの避難判断に役立ちます。

町からの防災情報

防災行政無線
防災行政無線の内容をメ
ールや電話、専用ホーム
ページから確認できます。



町ホームページ
ID 3748

各種SNS

各種SNSでも情報をお届けします。

LINE



X(旧Twitter)



Facebook

